



光 和

7月号
練馬区立光和小学校
令和4年6月30日

光和小
携帯サイト



一人一人のよさを生かしながら

校長 矢島 直行

梅雨が明け、夏本番を迎えます。子供たちもあと3週間で夏休みになります。

先日行われました本年度最初の学校公開には、大勢の方にご参観をいただきありがとうございました。日頃学校で頑張っている子供たちの様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。

さて、先日、5年生の連合音楽鑑賞教室が練馬文化センターで実施されました。普段はCDなどからしか聴くことがない演奏を、今回は直接聴く貴重な機会となりました。舞台から伝わってくる迫力に圧倒されました。木管楽器、金管楽器、弦楽器、打楽器と楽器にはいろいろな種類があります。合奏は一人で演じることができません。演奏をしている交響楽団の方々の気持ちが一つになって聴いている人に感動を与えます。楽器によって音に特徴があります。それぞれの楽器の音が合わさったとき、私たちは演奏に引き込まれます。

また、6年生の軽井沢移動教室に引率した際、自然の中で山の風景を見ていましたら、新緑の美しさに引き込まれました。鮮やかな緑の山の風景は練馬区では見ることはできません。しかし、よく山を見ますと、同じ種類の木でも、全く同じ緑色ではありません。それぞれに色合いが若干異なっています。一つ一つの木々が集まって美しい山の風景を醸し出しています。

このことは学校でも同じことが言えるのではないのでしょうか。一人一人子供たちは、考え方や得意なこと、性格など、それぞれ違いますが、それぞれによさがあります。そのような子供たち一人一人が一緒になることにより、学び合い高め合うことができます。そして、協力することの大切さを学び、互いを思いやる心を育んでいくことができます。

学校では学習をはじめ、遠足や社会科見学、運動会、移動教室、クラブ活動、委員会活動など、いろいろな活動があります。どの活動も一人ではできません。友達がいるこそできるものです。学習では友達とお互いに考えを話し合うことによりお互いに学び合っていきます。遠足ではオリエンテーリングなどの活動を通して友達と協力することの大切さを学びます。たて割り活動やクラブ活動、委員会活動などは、上級生のよいところを学べる機会です。また、下級生に優しくしてあげるなど、思いやりの心を育んでいきます。コロナ禍でなかなか活動ができないこともありましたが、感染症対策に努めながらこれから活動に取り組んでいきます。

今、5年生は岩井移動教室に行っています。5年生の子供たちもこれまで学んだことを生かしながら、友達と協力しながら安全に楽しい生活を送っています。移動教室で経験したことをこれからの学校生活に生かしてまいります。移動教室での様子は学校ホームページや校内の掲示板に掲載しています。

子供たち一人一人のよさを生かしながら、光和小学校がさらによりよく発展していけるように努めてまいります。